

平成27年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・土壌肥料部会秋季研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海土壌肥料部会長
中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域長
加藤 直人

1. 趣旨

家畜ふん堆肥には肥料成分が豊富に含まれており、特に安価なリン酸、加里の国内資源としての活用が期待されている。また、平成24年には混合堆肥複合肥料の公定規格が新設され、肥料原料としての利用が開始された。そこで、家畜ふん堆肥に含まれるリン酸、加里の肥効に関する最新の研究成果について検討するとともに、すでに製造・販売されている混合堆肥複合肥料の肥効確認栽培試験について検討する。

2. 開催日時： 平成27年 10月8日(木)13時～9日(金)12時30分

3. 開催場所： 研究会 (1日目) ホテル ニューイタヤ
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2-4-6
現地検討会 (2日目) 栃木県農業試験場いちご研究所、ゆめファーム全農

4. 共 催 : 関東東海土壌肥料技術連絡協議会

5. 検討事項：「家畜ふん堆肥の高度利用による地域資源活用型農業の推進」

1) 混合堆肥複合肥料による作物生産(仮題)

(朝日工業株式会社生物工学研究所 所長 浅野 智孝)

2) 牛ふん堆肥のカリウム肥効(仮題)

(神奈川県農業技術センター 主任研究員 竹本 稔)

3) 家畜ふん堆肥のリン酸肥効(仮題)

(岐阜県農業技術センター環境部長 棚橋寿彦)

4) ペレット成型によるリン酸肥効の向上(仮題)

(九州沖縄農業研究センター 主任研究員 荒川祐介)

5) 総合討議

6. 参集範囲

関東東海地域各都県行政・普及・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産省消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、大学、民間企業、(独)農林水産消費安全技術センター、農業環境技術研究所、農研機構、その他部会長が認めるもの

7. 連絡先

農研機構中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 主任研究員 金澤 健二

(TEL : 029-838-8829、E-mail : kanazawa@affrc.go.jp)

栃木県農業試験場 研究開発部 土壌環境研究室長 宮崎 成生

(TEL : 028-665-7072、E-mail : miyazakin01@pref.tochigi.lg.jp)

8. その他

参加申込み等については、栃木県農業試験場より別途連絡する。